

水島の 地域と公害

水島は倉敷市の美観地区から7キロほど南下したところ
あり、アジア・太平洋戦争中に三菱重工の軍用機工場が名古屋
から進出してきたことによってつくられたまちです。戦後は
水島港が整備され、水島臨海工業地帯(水島コンビナート)
が形成されます。水島コンビナートは新産業都市の優等生
といわれ、岡山を農業県から工業県に変化させました。一方
で公害問題を引き起こし、海洋汚染や大気汚染による農漁
業被害と、多数の呼吸器疾患の患者が発生しました。

写真:安藤弘志 倉敷市歴史資料整備室所蔵

みずしま財団とは

倉敷公害訴訟(1983-1996)では、公害被害者が水島臨海工業地帯の企業の責任を追及し、原告が勝訴しました。公害被害者は賠償金の一部を積み立てて、和解後のまちづくりの取り組みを水島地域環境再生財団(みずしま財団)に託しました(2000年設立)。公害の経験を伝える資料館の活動もその一つです。

寄付をみつめています

資料を収集・整理していくために、倉庫の家賃や資料整理のアルバイトの賃金などが必要になっています。皆さんからのご寄付で活動を推進することができます。税額控除を受けることができますので、ぜひご寄付をお願いいたします。

● 郵便振替口座

【加入者名】公益財団法人水島地域環境再生財団

【口座番号】01380-4-36797

● 銀行口座

【銀行】中国銀行 水島支店

【預金種目】普通 【口座番号】1868771

【名義】公益財団法人 水島地域環境再生財団

代表理事 石田 正也

地球環境基金助成事業

公益財団法人水島地域環境再生財団・
みずしま資料交流館(あさがおギャラリー)



〒712-8033 岡山県倉敷市水島東栄町11-12(駐車場:8台)

TEL:086-440-0121



GALLERY

あさがおギャラリー
みずしま資料交流館

水島に 触れる

Experience



水島は魅力的なまちです。江戸時代の干拓、明治・大正期の高梁川の改修、戦争と軍需工場の進出、戦後の石油へのエネルギー転換。いろんな「開発」にまつわる物語を持っています。みずしま資料交流館は水島の物語を紡ぎ、新しい価値を作り出す場所です。地域の歴史を集める「みずしま地域カフェ」や、みんなで紡ぐ『水島メモリーズ』の活動にどなたでも参加することができます。



研修受入

みずしま財団の活動について知りたい人はみずしま財団へ、水島のことを広く学びたい人はみずしま滞在型環境学習コンソーシアムへ、ご要望に応じてそれぞれお問い合わせください。

ホームページは
こちら



みずしま財団公式HP
研修受け入れページ



コンソーシアム
公式HP



交流する

Community

みずしま資料交流館は、「多視点性」を重視し、多様な考え方と出会い、考えるきっかけになる場を目指しています。会議ができるスペース、展示ができるスペースもあります。いろんなイベントが開催できるようにしていますので、ぜひご利用ください。

レンタルスペース

会議室

区分	時間帯	料金	午前・午後
午前	9:00 - 12:30	1,000円	2,000円
午後	13:00 - 17:00	1,500円	

ギャラリー

区分	時間帯	料金	午前・午後
午前	9:00 - 12:30	1,000円	2,000円
午後	13:00 - 17:00	1,500円	

※展示などで1週間の利用の場合10,000円



学ぶ

Study

水島の公害や環境問題全般に関する書籍を所蔵しています。また、倉敷公害訴訟に関する資料群を保存・公開しています。気軽にお立ち寄りください。

水島から日本の地域の未来を考える
書籍も販売中です

『「地域の価値」をつくる』

水島の歴史を学び、日本と地域の未来を考える。朝日新聞で書評が掲載されました

『地域の価値をつくる』



発行：東信堂

『多視点性と成熟』

著名な思想家・内田樹先生による、みずしま資料交流館オープン記念講演の記録

『多視点性と成熟』



発行：東信堂

資料閲覧・図書

水島や環境に関する図書 約2000点 閲覧と貸し出しをしています。

一次資料として倉敷公害訴訟関係資料を約6000点所蔵しています。

閲覧したい方は事前予約をしてください。